

【学校教育目標】
平和を愛し理想の実現に向って
自己を高める
【今年度重点目標】
「かわり」「つながり」共に
未来を開く生徒の育成



み お
水 脈

小樽市立潮見台中学校
小樽市潮見台1丁目17-1
ホームページ公開中

潮見台中学校

検索



適量のススメ

校長 佐川 聖明

定期テストも終わりました。外はすっかり冬の風景となり、次の1年の足音が聞こえてくるようになりました。寒くなると、風邪をひきやすくなります。うがい、手洗いを忘れず、体調管理に気をつけて生活しましょう。風邪を予防するためには体をよく休めること、そして体を温めることを心がけましょう。体を休めるには睡眠が最適です。スマホの画面と向き合っていると気がついたら日付が変わっていた、ということがないようにしてください。

さて、皆さんはビュッフェスタイル（バイキング）のレストランを利用したことがありますか？用意されたメニューを自由にとりわけて食べる、あるいは注文して好きなものを好きなだけ食べられるといった食べ放題スタイルのレストランを指します。

その際にポイントとなるのが、「自分の好きな料理をいかに食べられる分だけ盛り付けて食べきるか」です。このスタイルのレストランでの残食は御法度（ごはっと：やってはいけない、という意味）です。それでも、某ホテルでは朝食ビュッフェの食品ロスだけかなりの量のフードロスが存在しているとか。なんともったいない。あれもこれもと欲張ってしまい、結果的に食べきれない量を取ってしまったのでしょう。「お残しは許しまへんでえ」という声が聞こえてきそうです。

さて、3年生の皆さんを対象に4月からの進路を

ための三者面談が行われています。面談を終え、具体的な志望校が決まった皆さんは、不安な気持ちで毎日を過ごしていることでしょうか（もちろんこれから面談の方も）。私自身、今振り返ってみると、高校入試は大学入試や教員採用試験やその他諸々に比べれば大したことがなかったな、と思います。でも、15歳の時の自信と不安の間で揺れ動く気持ちは今でもしっかり覚えています。人生で初めての大きな試練だったはず。

3年生の皆さんも今の不安をごまかさず、必死で勉強してほしいと思っています。大人になってから「経験しておいてよかった」と思えることのひとつに受験勉強があります。くじけそうな気持ちと闘いながら毎日勉強することは、知識を得る以上に自分を強くするための時間です。「人は学ぶことで強くなる」という言葉を聞いたことがあります。ぜひ、自分自身に負けずに頑張ってください。

そして、頑張るときに思い出して欲しいのが、「バイキング食べ残し禁止」の理論です。受験が近づくほど不安が増し、できていない部分全てを完璧にしようとして手を広げすぎてしまい、かえって身につかないことがあります。ここから先は時間との闘いでもあるので、欲張らずに1つ1つの教科、単元を確実に身につけることをオススメします。その方が達成感もあり、点数もアップにもつながるはずです。

皆さんが全力で頑張る姿を見ることを楽しみにしています。

進路選択についてのマメ知識 1.2年生の皆さん、今度はあなたの番です

来年、もしくは再来年に控えた進路選択に向けた情報です。この数年で変更された高校入試について簡単に紹介します。

①願書はWeb出願に

今年度より公立高校は自分で自分の状況をWeb上で入力し、その入力事項を印刷して中学校に提出するスタイルになりました。なお、多くの私立高校でも同様のシステムを採用しています。

②自己推薦制度の導入

それぞれの高校で求める生徒像（スクールポリシー）に適合していると判断した場合、自分で名乗りを上げて受験する制度です。ちなみに市内公立高校では、小樽桜陽・小樽未来創造・小樽水産高校でこの制度を導入しており、スクールポリシーは各校のホームページに掲載されています。

③学校説明会の開催

メタバース空間で授業を行うなど今までにはないスタイルの学校が増えてきたことにもない、2年生の段階で参加できる学校説明会を開催する学校が増えています。百聞は一見にしかずです。興味のある学校のホームページをのぞいてみてください。



公開研究会～子どもたちが主体的に活動する授業を目指して

10月29日(火)に本校の公開研究会を実施し、1年1組で音楽科「リコーダー」の授業を行い、潮見台小学校の先生方を始め、多くの方が参観しました。

授業者の瀬川教諭は、「この授業を通して音楽に親しんでいく態度や豊かな情操を培いたい」と目標をたて、令和の日本型学校教育にもあげられている「個別最適な学習」と「協働的な学びの実現」を目指し、1人1台端末の活用や自由進度学習といった取り組みを実践しました。全員で足並みをそろえて、教師側が授業を展開するスタイルを脱却し、生徒一人一人が自らの課題を設定することで達成感を味わい、自己調整力や自己肯定感につながる授業づくりを目指し更に研修を深めたい。」と感想と抱負を述べていました。

参加された先生方からは、生徒の主体的に学ぶ姿が多く見られた。この良い流れを潮見台小中連携につなげていけたらよい、等、たくさんの感想をいただきました。の感想をいただきました。



「小樽音読カップ」2年千葉直輝さんが奨励賞に

11月9日(土)第10回小樽音読カップが行われ、2年生の千葉直輝さんが出場し、奨励賞を受賞しました。大会を終えて、千葉さんは次のように感想を述べてくれました。「私は去年も音読カップに出場しましたが、賞をとることができず、その悔しさが、今年もこの大会に出場することを決めました。毎日のように練習をしたのでとても大きな達成感がありました。大会では自分の番が近づくと意外に緊張し、また同時に他校の皆さんの音読が上手だったので、入賞できるのかドキドキしましたが、結果的には賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。今年も挑戦してよかったです。」



「小樽ユネスコ杯英語祭」3年遠藤さんが小樽市長賞に

10月20日(日)第49回小樽ユネスコ英語祭が行われ、3年生の遠藤かさねさんが出場し、小樽市長賞を受賞しました。大会を終えて、遠藤さんは次のように感想を述べてくれました。「私は今回、ユネスコ英語祭で『オーバーツーリズム』についてスピーチをしました。小樽は観光都市であり、コロナ後、観光客が増えたことによる問題について、そのように対処したらよいかを発表しました。音楽部のコンサートや文化祭、松前神楽の秋季例祭、英検なども時期が重なり、英語祭の練習は時間に余裕がありませんでしたが、昨年の英語祭で緊張し上手く話せず失敗した悔しさをバネに頑張りました。今後も色々なことに失敗しても諦めず挑戦し続けていきます。」

新しい本が入りました 呂文責:学校司書 菅原

学校図書館には、76冊の新しい本が届きました。

夏にみなさんにアンケートをとり、希望のあった本をはじめ、小説、歴史に関する本、新紙幣にまつわる本、漫画など、さまざまな種類の本を揃えました。みなさんがリラックスして過ごすことができるよう図書館に入ってすぐのスペースの模様替えもしました。ゆったりとした気持ちで、ぜひ新しい本を手にとってみてください。



お箏授業～1年生の授業風景～

大林雅朋先生、三浦波人先生を講師にお迎えし、お箏の授業を行いました。先生からは、「文化箏ではありますが、一人一面があたり、ゆったりと授業ができ、集中していました。」と、講師の先生から、温かいお褒めの言葉をいただきました。



日	週	行事
1	日	
2	月	1・2年二者面談⑤3年三者面談 【1.2年午前授業 3年5時間授業】
3	火	潮陵インターンシップ2名 SC来校
4	水	潮陵インターンシップ2名 進路委員会 PTA三役選考会18:30
5	木	職員会議【5時間授業】
6	金	【5時間授業】学校運営協議会③ 潮小1年生とのふれあい教室(家庭科)
7	土	
8	日	
9	月	桜陽インターンシップ1名
10	火	
11	水	
12	木	指導訪問13～15時
13	金	授業参観・保護者会【5時間授業】
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	校内研修⑧【5時間授業】 ◆定時退勤日
20	金	校内初任研 道徳
21	土	
22	日	
23	月	大掃除
24	火	賞状伝達【3時間授業】 1月分掌会議◆定時退勤日
25	水	冬休み学習会9～11時
26	木	
27	金	
28	土	閉庁日
29	日	閉庁日
30	月	閉庁日
31	火	閉庁日